

# 成田市教育委員会会議議事録

平成30年8月成田市教育委員会会議定例会

期 日 平成30年8月22日 開会：午後2時 閉会：午後3時20分

会 場 成田市役所5階 503会議室

## 教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	小 川 新太郎
委 員	高 木 久美子
委 員	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗

## 出席職員

教育部長	宮 崎 由紀男
教育部参事	神 山 金 男
教育総務課長	清 水 活 次
学校施設課長	篠 塚 正 人
学務課長	高 梨 哲 生
教育指導課長	高 安 輝 司
生涯学習課長	神 崎 良 浩
学校給食センター所長	椿 弘 志
公民館長	谷 平 裕 美
図書館長兼視聴覚サービスセンター所長	田 中 美 季
教育総務課長補佐 (書記)	篠 塚 康 孝

傍聴人：0人

## 1. 教育長開会宣言

## 2. 署名委員の指名 小川新太郎委員、佐藤勲委員

## 3. 前回議事録の承認

## 4. 教育長報告

### 主催事業等

#### ○7月30日 「教育事務に係る点検及び評価」における評価委員会議について

今年度新たに、大竹誠司 前成田中学校校長が評価委員に加わり、齊藤利明委員、依知川典子委員、渡邊昌美委員、高塚典子委員の5名で教育委員会事務事業評価を実施していただくことになり、この日は、数多い教育委員会事務事業の中から、特に評価を実施すべき事業を選定していただきました。私は、最初の挨拶のみで退席させていただきましたが、委員さんの協議により、今年度は、32事業を選定していただいたとのことです。それぞれ公平、公正な立場で教育委員会事務事業の評価を実施していただき、私たち事務局職員は、これを真摯に受け止め、業務改善に取り組んでいきたいと思っております。評価結果が出ましたら、また、改めて教育委員の皆様にもその状況をお伝えしたいと思います。

#### ○8月7日 平成30年度第1回成田市学区審議会について

今回は特に審議する議題はありませんでしたが、今年度の就学指定学校の変更、区域外就学の状況、今後の児童生徒数の推移等について報告させていただきました。このことについては、本日の報告事項の中で担当課長から詳細な報告をさせていただきます。

### その他

#### ○7月31日 平成30年度折り鶴平和使節団・千羽鶴出発式について

これまで、毎年8月9日の原爆の日、長崎で行われる平和記念式典に合わせ、千羽鶴を献納するとともに、平和記念式典に参加していた中学生による平和使節団でしたが、今年からは、8月6日に広島で開かれる平和記念式典に参加することになりました。この日は、市内11校の中学校の代表者たちが市役所に集まり、大勢の皆さんが協力し、折ってくださった千羽鶴の

出発式があり、私もその式に参加しました。主催は成田市の他に成田市平和啓発推進協議会で、主管は文化国際課となっていて、この日のイベントは文化国際課が運営していましたが、生徒たちの実質的な指導は、教育部教育指導課の指導主事が担当しています。今年は須川副参事が担当となり、生徒たちとともに、広島に向かいました。

なお、この折り鶴平和使節団の報告会は10月28日の日曜日、文化芸術センター スカイタウンホールで行われますので、委員の皆様にも是非ご出席いただきたいと思っております。

#### ○8月2日 第16回WBSC世界女子ソフトボール選手権大会開会式について

女子ソフトボールの世界選手権が千葉県で開催され、その予選リーグが成田市のナスパスタジアムでも行われるということで、早くから期待していたのですが、この日、大会に参加する全16チームがナスパスタジアムに集まり、開会式が行われました。私も招かれて、開会式とその後の日本対イタリアの試合を見てきましたが、試合前の始球式では、鈴木大地スポーツ庁長官がボールを投げ、小泉市長がバッターボックスでバットを振るという場面を見ることができました。国際試合ならではのイベントもそうですが、試合のレベルの高さに驚きました。大会結果は皆さんテレビ等でご存じの結果となりましたが、これが2年後、オリンピック種目として再び日本で行われます。しかし、その後オリンピックで継続して開催されるかどうかは不透明なため、各国の選手たちがこの大会にける意気込みは相当なものがあると感じました。日本チームにはオリンピックで、是非、今大会の雪辱を期してほしいと願っています。

#### ○8月3日 第68次印旛地区教育研究集会について

毎年、夏のこの時期、成田国際文化会館で印旛地区教育研究会主催の教育講演会が開催され、開催地の教育委員会ということで、私と部長、教育指導課長が招かれます。私は開会式で挨拶をした後、客席でこの日の講演をお聞きしてまいりました。講師は食文化論者で文筆家の小泉武夫氏。小泉氏は、福島県田村市小野町の酒造家に生まれ、大学で発酵学、醸造学、食文化論などを学び、農学博士を取得。現在は、東京農大名誉教授、鹿児島大、琉球大をはじめ5つの大学の客員教授として活躍されている方です。

専門が発酵学、醸造学ということで、話の内容も専らこうした観点から日本の食文化を考える内容で、面白おかしく、あっという間の90分間でした。ここで、その面白いお話の内容を全部伝えることはとてもできませんが、戦前の沖縄と戦後の沖縄の食がどのように変わり、その結果どのような状況が生まれているかなど、なかなか説得力のあるお話でしたが、お話全般を通じて言われていたことは、和食の素晴らしさ。中でも、発酵食品の良さを強調されていた

ように思います。「和食は免疫食である」、「免疫細胞ができれば病気にならない」と力強く語っていた言葉が印象的でした。

#### ○8月3日 平成30年度第1回成田市青少年問題協議会会議について

新任の委員さん10名を加え、青少年問題協議会が開かれました。委員の数は全部で20名。警察関係、公共職業安定所、小・中・高の校長先生方、子ども会、スポーツ少年団、青少年相談員連絡協議会、民生委員児童委員協議会、保護司会、PTA連絡協議会、区長会等々、様々な青少年関係団体や行政機関の代表者が集う協議会です。今年度最初の協議会ということで、会長は、伊藤卓 成田八街地区保護司会会長が、副会長には、鈴木誠一 成田市青少年相談員連絡協議会副会長が選出されました。この協議会は、地方青少年問題協議会法に基づき、本市においても条例により設置が義務付けられているもので、「青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項を調査審議する」こと、「青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図る」ことを目的としています。

総合的な施策の樹立に必要な重要事項の調査審議及びその適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整ということから考えると、新たな施策ができる時、あるいは必要な時にこそ、この協議会が果たす役割の重要な場面となりますが、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関することについては、もうずいぶんと長い間、新たな施策は生まれていません。したがって、本会が本来機能すべき役割を果たしているとは思えませんが、警察や行政機関から提案される事例を見ると、最近は児童虐待に関する内容が多くあり、そのほとんどが抜本的な解決には至らず、子どもの将来に大きな負荷を強いる結果となっています。つまりは、予防措置よりも、起きてしまった後の対応が中心となる事例報告が多いのが実態です。今後、こうした協議会を機能させるためには、もっと予防措置に対する協議を活発に進める必要があると感じた次第です。なかなか難しいことですが、何かを始めなければ何も生まれないという気持ちで、各関係行政機関が取り組んでいく必要があると思いました。

#### ○8月4日 第9回成田の地域遺産写真展・世界遺産展・ユネスコ活動展について

ユネスコ協会主催の、成田の地域遺産写真展表彰式並びにユネスコ活動展に出席しました。この展示会、表彰式は、市のユネスコ協会が主催し、毎年、公津の杜のユアエルム1階センタープラザで開催されているものです。写真展に作品を応募する方がどれくらいいらっしゃるのか伺っておりませんが、入賞された方の中には、ここ数年、毎回入選されておられる方もいら

っしかったです。写真を見ると、成田にもこのようなところがあったのだと、改めて地元地域の良さを感じたりします。ユネスコ協会の活動は決して派手ではありませんが、皆さん、ボランティア精神があふれ、本当に一生懸命です。特に、会長の橋内先生の情熱には圧倒されます。明後日、24日の金曜日にも、ユネスコ協会主催の「ユネスコスクール研修会」が市役所3階第二応接室で行われることになっています。委員の皆様も、ご興味がおありでしたら、一度、ご参加されてはいかがでしょうか。

#### ○8月16日 「2018 NARITA少年の翼」出発式について

5月5日、こどもの日に結団式を行い、何度か宿泊研修などを実施してきた「NARITA少年の翼」の子どもたち32名と、各チームリーダー8名、引率の青年会議所メンバー5名及び市役所職員2名の計47名が、この日、ニュージーランドのフォクストンに向けて出発しました。私は、その出発前に行われた出発式に参加し、挨拶をしてきました。帰国は、昨日21日でした。ニュージーランドは、今、日本とは逆の冬。ホームステイする子どもたちの健康がいつも心配されますが、きっと素晴らしい体験をして、たくましくなって帰ってきたに違いありません。今年も希望者が多く、およそ半数は参加を申し込んでも選抜されなかったと聞いています。貴重な体験ができる子どもたちは、ほんのわずかです。どうか、この体験を生かせる人間に成長してほしいと願っています。

#### ○8月20日 成田市中学生議会について

成田高等学校附属中学校を含む市内11の中学校・義務教育学校から、中学生議員が集まり、中学生議会が行われました。教育委員会関係の質問は、登下校時の安全対策についてと、自宅以外で安心して学習できる施設の確保についての2点について質問がありました。どちらも、これまで議会で答弁してきた内容を基に、丁寧に答えさせていただきました。

中学生議員の中には、自分の質問や質問終了後の意見発表を、原稿を見ずに行う生徒もいて、彼らの、この議会に対する純粋な気持ちを感じ、そのひたむきさに心を打たれました。この日の経験を、これからの学校生活に少しでも生かしてもらえれば幸いです。

#### ○8月21日 成田市スポーツ少年団 中学生軟式野球成田選抜 表敬訪問について

8月11日、12日の2日間、群馬県桐生市で行われた関東ブロックスポーツ少年団中学生軟式野球交流大会で、成田選抜スポーツ少年団が見事優勝し、その報告会が昨日行われました。スポーツ少年団の大会であり、選手も市内の各中学校から選抜されていること、大会時期も

中学校総合体育大会終了後、間もないということで、なかなか練習時間が取れなかったようでしたが、短期間の練習で素晴らしいチームワークが生まれ、良い試合を続けることができたようです。参加5都県8チームによるトーナメント形式の大会で優勝したということです。報告会で集まった選手たちの表情がとても明るく、前向きで、優勝するチームの雰囲気というものを感じさせてもらいました。参加選手全員が中学3年生だったので、中学校生活の良い思い出になったものと思います。

以上、報告とさせていただきます。

#### 《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：8月8日、成田法人会と成田税務署が中心となりまして、「夏休みお楽しみイベント」という税金を考える会が成田国際文化会館で開催されましたが、成田中学校のブラスバンド部の皆さんにご協力をいただきました。ちょうど台風が向かって来ていまして、出足が心配されましたが、500人近い親御さんに来ていただきまして、会を無事に終了することができました。ご協力いただきました成田中学校のブラスバンド部の皆さんに感謝いたします。

高木委員：中学生議会についてですが、市内11校の中学生議員が議場において立派な意見を述べていたということは、素晴らしいことだと思います。一方で、中学生議会に参加した生徒だけのものになっているように感じられますが、他の生徒に対しては、どのような効果というか成果があるのか、教えていただきたいと思います。

また、夏休みがもうすぐ終了しますが、夏休み期間中、各学校の児童生徒に関しては、何か大きな事故等はなかったのでしょうか。

議長：それでは、まず、中学生議会の成果についてですが、教育指導課の方で何か聞いていることはありますか。

高安教育指導課長：中学生議会につきましては、市民協働課の方で主催しておりますが、子どもたちへの指導という観点から、教育指導課も関わらせていただいております。成果といたしましては、実際に議場において市議会の運営等を学べるということは、貴重な体験であると思います。委員さんのおっしゃるとおり、恩恵を受けるのは参加する生徒に

限られるということもあるとは思いますが、参加した生徒が各学校に戻った際、議場で体験したことをそれぞれの学校で広めていただくことは期待できるのかなと思います。

議 長：夏休み中の事故等については、何か報告等ありますか。

高安教育指導課長：まず、夏休み中の事故等につきましては、現在までのところ、熱中症により緊急搬送されるといった児童生徒はおりません。また、児童生徒の交通事故等、大きな事故についても発生しておりません。

議 長：中学生議会につきましては、高木委員さんがおっしゃるように、参加した生徒だけのものになっているというのは、そのとおりだと思います。学校に帰って、どれだけ他の生徒に影響を及ぼすかという、なかなか期待できないのではないのかなとは、確かに思うところではあります。他にも、例えば、「少年の翼」で子どもたちがニュージーランドのフォクストンに行っていますが、こちらについても、費用が結構かかりますし、参加できる家庭というのは、どうしても限られてしまいます。参加すれば、それだけの成果は得られますが、それが他の多くの子どもたちに還元できるかという、なかなか難しいというのが実際のところだと思います。

## 5. 議 事

### (1) 議 案

議案第1号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項第1号の規定により非公開により審議する。

<これより非公開>

議案第1号 「学校医の委嘱について」

高安教育指導課長：

議案第1号、学校医の委嘱についてご説明いたします。本議案は、前林小学校及び大栄幼稚園の学校医の先生がご逝去されましたことから、学校保健安全法第23条並びに成田市立小学

校、中学校及び義務教育学校管理規則第5条及び大栄幼稚園管理規則第3条の規定により、資料のとおり学校医を委嘱するものです。

なお、任期につきましては、成田市医師団とご相談させていただきました結果、今回は通常の委嘱と異なることから、平成30年9月1日から平成31年3月31日までの任期での委嘱ということで、ご了承をいただいております。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

《議案第1号に対する質疑》

佐藤委員：お亡くなりになってから8月末までは学校医が不在ということですが、何か支障はなかったのでしょうか。

高安教育指導課長：特に支障はございませんでした。

議 長：直ぐには後任の方を決定することができませんでしたので、これまで正式に委嘱することができなかったということがあります。

高安教育指導課長：本来であれば、大栄診療所の後任の方に学校医をお願いするところですが、後任者がなかなか決まらなかったこともございまして、今回、成田市医師団からお二人の先生をご推薦いただき委嘱をするに至りました。

高木委員：任期についてですが、規則で「前任者の残任期間」となっていますので、平成32年3月31日までとすべきだと思いますが。

高安教育指導課長：今回の委嘱につきましては、例外的な措置であることから、任期については、本年度末までとしたいといったお話がございましたので、平成31年3月31日までとさせていただきたいと思います。

議 長：その他、ご質問等ございますか。特にないようですので、議案第1号「学校医の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

<非公開を解く>

## (2) 報告事項

報告第1号 「平成30年度第1回成田市学区審議会報告について」

高梨学務課長：

報告第1号、平成30年度第1回成田市学区審議会報告についてであります。8月7日、午後1時半より今年度第1回目の学区審議会を開催いたしました。本審議会では、報告事項2件について報告させていただきました。

まず、「報告第1号 指定学校変更・区域外就学の状況について」であります。平成29年度中の指定学校変更・区域外就学の状況並びに平成30年度新入学児童生徒の指定学校変更の状況について報告いたしました。平成29年度の指定学校変更につきましては、小学校において101名、中学校において104名の合計205名の児童生徒が指定学校からの変更をしております。また、平成30年度新入学児童生徒につきましては、小学校において40名、中学校において92名の合計132名の児童生徒が指定学校からの変更をしております。

続いて、「報告第2号 成田市立小学校・中学校及び義務教育学校の児童生徒数の推移について」であります。住民基本台帳と学齢簿をもとに、小学校については現在から平成36年度まで、中学校については現在から平成42年度までの児童生徒数の推移を報告し、将来的な学区や学校規模の在り方について、学区審議会委員からご意見をいただきました。

特に、今後は、豊住小学校において平成35年度にはすべての学級が複式学級になることや、神宮寺小学校、玉造小学校において児童数が大幅に減少することが見込まれております。委員の皆様からは、小規模校に関する内容を中心に、資料に記載のとおり質問や意見が出されました。以上、平成30年度第1回成田市学区審議会の報告をさせていただきます。

《報告第1号に対する質疑》

小川委員：加良部1丁目から西中学校への指定学校変更が多いということですが、地理的に近いからという理由からですか。

高梨学務課長：加良部1丁目につきましては、地理的に西中学校に非常に近いことから、西中学校への指定学校変更が認められておりますので、加良部1丁目から西中学校への指定学校変更が多いということがあります。

片岡委員：それと、加良部小学校で一緒だった友達とのつながりから、あるいは、自分がやりたい部活動があるから、西中学校へ指定学校変更するというをよく聞きます。

## 6. その他

その他 「累計貸出冊数4,000万冊突破を記念したイベントについて」

田中図書館長：

図書館から1件ご報告をさせていただきます。市立図書館につきましては、この8月19日において、昭和59年10月の開館からの累計貸出冊数が4,000万冊を突破いたしました。この度、その記念として、「クイズ・クロスワードに挑戦」というイベントを、昨日、8月21日より行っております。

お手元にお配りしたチラシの裏面が、クロスワードとなっております。子ども向けから大人向けまで4種類のクイズがあり、正解された方には、スタンプカードにスタンプを押します。本の貸し出しによるスタンプとあわせて、クイズによるスタンプを集めていただき、スタンプカードのスタンプがすべてたまった方、先着500名様に「ほんかり君」グッズをプレゼントするイベントとなっておりますので、図書館利用者の皆様に、是非ご参加いただきたいと思っております。

## 7. 教育長閉会宣言